

小林正人 CV

1957年 東京生まれ
東京および福山在住

個展

2023	Upcoming: 個展、シュウゴアーツ（東京） 千葉市美術館コレクション選 特集「小林正人 空戦・絵画の子」千葉市美術館（千葉）
2021	「この星の家族」シュウゴアーツ（東京） シュウゴアーツオンラインショー「この星の絵の具」シュウゴアーツウェブサイト
2019	「画家とモデル」シュウゴアーツ（東京）
2016	「Thrice Upon A Time」シュウゴアーツ（東京）
2014	「名もなき馬」シュウゴアーツ（東京）
2013	「絵画、それを愛と呼ぶことにしよう vol.9 小林正人+杉戸洋」ギャラリーαM（東京）
2012	「ART TODAY 2012 弁明の絵画と小林正人」セゾン現代美術館（軽井沢） 「LOVE もっとひどい絵を！ 美しい絵 愛を口にする以上 2012, spring」シュウゴアーツ（東京）
2010	「LOVE もっとひどい絵を！ 美しい絵 愛を口にする以上」シュウゴアーツ（東京）
2009	「この星の絵の具」高梁市成羽美術館（岡山）
2007	「ライトペインティング」シュウゴアーツ（東京）
2006	「光」高橋コレクション（東京） 「小林正人 初期作品 1982-1992」シュウゴアーツ（東京） 「The Nude」シュウゴアーツ（東京）
2005	「Starry Paint」フートベカートギャラリー（ゲント、ベルギー）
2004	「Starry Paint」テNSTA・クンストハーレ（ストックホルム、スウェーデン） 「星の絵の具」シュウゴアーツ（東京）
2002	「Paintings in Situ」Rice Gallery by G2（東京）
2001	「Another “Son of Painting”」S. Cole Gallery（ゲント、ベルギー） 「A Son of Painting」S.M.A.K. /ゲント市立現代美術館（ゲント、ベルギー）
2000	「小林正人展」宮城県美術館（仙台） 佐賀町エキジビットスペース（東京）
1998	「夜に」佐谷画廊（東京）
1997	「新作展」佐谷画廊（東京）
1995	「新作ペインティング&ドローイング」佐谷画廊（東京）
1993	「新作展」佐谷画廊（東京）
1992	「絵画の子」佐谷画廊（東京）
1991	「空戦」佐谷画廊（東京）
1989	「Masato Kobayashi 1987-88」佐谷画廊（東京）
1986	「第2回新世代展」佐谷画廊（東京）
1985	「絶対絵画」鎌倉画廊（東京）

ShugoArts

グループ展

2023	Upcoming 「山本篤・映像小屋/ ShugoArts Show」 シュウゴアーツ（東京） 「三沢厚彦 ANIMALS/Multi-dimensions」 千葉市美術館（千葉） 「うららか絵画祭」 HB. Nezu ほか 8 会場（東京）
2022	「MASATO KOBAYASHI + KENGO KITO」 MtK Contemporary Art（京都） 「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ（東京）
2021	「MOT コレクション Journals 日々、記す vol.2」 東京都現代美術館（東京） 「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ（東京） 「MOMAT コレクション 特別編 ニッポンの名作 130 年」 東京国立近代美術館（東京） 「神宮の杜芸術祝祭：気韻生動—平櫛田中と伝統を未来へ継ぐものたち」 明治神宮 宝物殿（東京）
2020	「シリーズミュージアムとの創造的対話 03 何が価値を創造するのか？」 鳥取県立博物館（鳥取） 「生命の庭 8 人の現代作家が見つけた小宇宙」 東京都庭園美術館（東京） 「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ（東京） 「燦三と照りつける太陽で、あつき加わり体調を崩しがちな季節ですが、規則正しく健やか奈日々をお過ごしください。展」 西武渋谷店 B 館 8 階＝美術画廊・オルタナティブスペース（東京） 「MOMAT コレクション」 東京国立近代美術館（東京） 「コレクション展示 第 IV 期」 宮城県立美術館（仙台）
2019	「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ（東京） 「星座と出会い系、もしくは絵画とグループ展について」 パープルルームギャラリー（神奈川） 「ここからむこうまで 広島から発信する現代アート特別展」 尾道市立美術館（広島） 「MOMAT コレクション」 東京国立近代美術館（東京） 「MOT コレクション第 2 期 ただいま／はじめまして」 東京都現代美術館（東京） 「百年の編み手たち—流動する日本の近現代美術—」 東京都現代美術館（東京） 「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ（東京）
2018	「バブルラップ」 熊本市現代美術館（熊本） 「ニュー・ウェイブ 現代美術の 80 年代」 国立国際美術館（大阪） 「三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA」 富山県美術館（富山） 「どう生きるか #2 六本木にて」 シュウゴアーツ（東京） 道後オンセナート 2018「アニマルハウス in 道後」 振鷺亭（愛媛） 「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ（東京）
2017	「あら まほし Art, anything to access a world」 東京都渋谷公園ギャラリー（東京） 「三沢厚彦 アニマルハウス謎の館」 渋谷区立松濤美術館（東京） 「高橋コレクション・マインドフルネス 2017」 山形美術館（山形） 「シュウゴアーツショー 1980 年代から 2010 年代まで」 シュウゴアーツ（東京） 「色で楽しむ現代美術」 千葉市美術館（千葉） 「紐帯展 日中現代芸術家交流会」 寧波美術館（浙江） 「鉄道絵画発→ピカソ行 コレクションのドア、ひらきます」 東京ステーションギャラリー（東京） 「蜘蛛の糸」 豊田市美術館（名古屋） 「美藝礼賛—現代美術も古美術も」 セゾン現代美術館（軽井沢）
2016	「恋する現代アート」 セゾン現代美術館（軽井沢） 「生きとし生けるもの」 ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡） 「TABLE OF THREE」 シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー（東京） 「リニューアルオープン記念 高松市美術館コレクション展—いま知りたい、私たちの現代アート」 高松市美術館（香川）

ShugoArts

	「村上隆のスーパーフラット・コレクション—蕭白、魯山人からキーンファーまで」横浜美術館 (神奈川)
2015	「シュウゴアーツ：毎週末の画廊、三宿 SUNDAY の隣」シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー (東京) 「Pass」 Mullem, Huise, Wannegem Lede (ベルギー) 「MOMATコレクション 誰がためにたたかう？」東京国立近代美術館 (東京) 「ライブドローイング『横浜絵巻』石田尚志、OJUN、小林正人」横浜美術館前広場 (神奈川) 「セゾン現代美術館コレクション展 手と目」セゾン現代美術館 (軽井沢) 「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」東京オペラシティー アートギャラリー (東京) 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ (東京)
2014	「DOMMUNE University of the Arts—Tokyo Arts Circulation—THE 100 JAPANESE CONTEMPORARY ARTISTS」DOMMUNE (東京) / アーツ千代田3331 (東京) 「絵画の輪郭」シュウゴアーツ (東京) 「From a Quiet Distance」PARKHAUS im Malkastenpark (デュッセルドルフ、ドイツ) 「RE: PAINTED 'PAINTING' FROM THE COLLECTION」S.M.A.K. (アントワープ、ベルギー)
2013	「アートがあれば II—9人のコレクターによる個人コレクションの場合」東京オペラシティーアートギャラリー (東京) 「高橋コレクション展—マインドフルネス！」鹿児島県霧島アートの森 (鹿児島) / 札幌芸術の森美術館 (札幌) 「プレイバック・アーティスト・トーク」東京国立近代美術館 (東京) 「千紫万紅—いつも現代」セゾン現代美術館 (軽井沢) 「ヴァンジ彫刻庭園美術館 コレクション展 この星のうえで」ヴァンジ彫刻庭園美術館 (静岡) 「ひとの姿／人のかたち」新潟県立万代島美術館 (新潟) 「Re: Quest—Japanese Contemporary Art since the 1979s」ソウル大学校美術館 (ソウル、韓国)
2012	「LOVE LOVE SHOW」鞆の津ミュージアム (広島) 「2nd Western China International Art Biennale」TianYe Art Museum (銀川、中国) 「自由になれるとき 現代美術はこんなにおもしろい！」岡山県立美術館 (岡山)
2010	「Living with Art—Contemporary Art from Japan and Taiwan」Yi&C. Contemporary Art (台北、台湾) 「Mediations Biennale」ポズナン国立美術館 (ポズナン、ポーランド) 「ドローイング イン ザ ダーク」東京国立近代美術館 (東京) 「メモリー／メモリアル 65年目の夏に」広島-ポーランド特別展示、広島市現代美術館 (広島) 「MOTコレクション 入り口はこちら…なにがみえる？」東京都現代美術館 (東京) 「The Burden of Representation: Abstraction in Asia Today」Osage kwun tong (香港、上海)
2009	「Fair Market」Fruit and Flower Deli (ニューヨーク) 「The Biennale Knokke Zoute 2009」クノック (ベルギー) 「現代美術の展望 12人の地平線」東京ステーションギャラリー (東京)
2008	「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ (東京) 「ムーンライトショー」@ JOTA CASTRO STUDIO (ブリュッセル、ベルギー)
2007	「天空の美術」東京国立近代美術館 (東京) a 「ポートレートセッション」広島市現代美術館 (広島)
2006	「空にふれるまでのあいだ」ヴァンジ彫刻庭園美術館 (静岡) 「MOT コレクション」東京都現代美術館 (東京) 「サマーショー」S.M.A.K. / ゲント市立現代美術館 (アントワープ、ベルギー)

ShugoArts

2004	「アートがあれば WHY NOT LIVE FOR ART」東京オペラシティーアートギャラリー（東京）
2003	「ティラナ・ビエンナーレ：U-Topos」ティラナ国立美術館（ティラナ、アルバニア） 「Gelijk het leven is」Vlaamse opera Gent（アントワープ、ベルギー）
2002	「エモーショナル・サイト」佐賀町食糧ビルディング（東京） 「未完の世紀：20世紀がのこすもの」東京国立近代美術館（東京）
2001	「先立未来」ルイジペッチ現代美術センター（プラトー、イタリア）
2000	「Epifanie - Actuele Kunst en Religie」（レーベン、ベルギー） 「A CASA DI…（…の家へ）」ミケランジェロ・ピストレット財団（ピエラ、イタリア） 「Over the Edges」S.M.A.K. /ゲント市立現代美術館（ゲント、ベルギー）
1999	「思わぬ発見」Douvie hoeve, ワトゥー（ベルギー） 「開館記念展」S.M.A.K. /ゲント市立現代美術館（ゲント、ベルギー）
1996	「赤い扉」ゲント現代美術館（ゲント、ベルギー） 「サンパウロビエンナーレ」（サンパウロ、ブラジル） 「ゲント現代美術館展」オランダ協会（パリ、フランス）
1995	「現代美術への視点 絵画、唯一なるもの」東京国立近代美術館（東京） / 京都国立近代美術館（京都） 「VOCA展 '94 '95 受賞作品展」第一生命南ギャラリー（東京） 「視ることのアレゴリー 1995：絵画・彫刻の現在」セゾン美術館（東京） 「VOCA展 '95—新しい平面の作家たち」上野の森美術館（東京）
1994	「光と影：うつろいの詩学」広島市現代美術館（広島） 「VOCA展 '94—新しい平面の作家たち」上野の森美術館（東京）
1992	「筆あとの誘惑—モネ、栖鳳から現代まで」京都市美術館（京都） 「TEMPUS VICTIM 生きられた時間：MTMコレクションの80年代」エスパス小原（東京）
1991	「色相の詩学展 現代美術・平面からのメッセージ」川崎市市民ミュージアム（川崎）
1989	「ドローイングの現在」国立国際美術館（大阪） 「現代美術への視点 色彩とモノクローム」東京国立近代美術館（東京） / 京都国立近代美術館（京都）
1987	「現代のイコン かみとひととものときの中に」埼玉県立近代美術館（浦和）
1986	「開館5周年記念 現代日本の美術3 戦後生まれの作家たち(第1期)」宮城県美術館（仙台）

ShugoArts

受賞

1994	VOCA奨励賞
------	---------

パブリックコレクション

国内

宮城県美術館（仙台）
いわき市立美術館（いわき）
宇都宮美術館（宇都宮）
セゾン現代美術館（軽井沢）
千葉市美術館（千葉）
第一生命保険株式会社（東京）
東京国立近代美術館（東京）
東京都現代美術館（東京）
東京ステーションギャラリー（東京）
新潟県立万代島美術館（新潟）
ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）
高松市美術館（高松）

国外

S.M.A.K. / ゲント市立現代美術館（ベルギー）

プライベートコレクション

大和プレス／大和ラヂエーター製作所（広島）
高橋龍太郎コレクション（東京）

出版

2020	「この星の絵の具 [中] ダーフハウス通り52」アートダイバー
2018	「この星の絵の具 [上] 一橋大学の木の下で」アートダイバー